

## 第28講 『水腫』

：水腫とは人体の水液が貯留し肌膚に溢れ、頭面・四肢・腹部甚だしければ全身に浮腫が起ることを言う。

### 【分類】

#### 陽水

：発病が急、数日間症状が続く、多くは上から下へと進行、皮膚には張りや光沢がある、指で押すとくぼみはすぐに戻る。

\* 風水氾濫で見られる。

#### 陰水

：発病は緩慢で病程は長い、多くは下から上へと進行、皮膚は緩んでおり、

指で押すとくぼみはなかなか戻らない。

\* 脾陽虚、腎陽虚で見られる。

### 【病因病機】

風邪 → 肺 → 肺失宣降 → 水道不通 → 水液流溢肌膚 ⇒ 水腫 -----> 陽水

飲食不節 }  
勞 倦 } 脾 → 脾失健運 → 水湿停滞 → 肌膚に溢れる ⇒ 水腫 }  
久 病 }

房勞 → 腎陽 → { 主 水 } の低下 → 水液内停 → 肌膚に溢れる ⇒ 水腫 }  
過度 → 損傷 { 膀胱気化 }

\* 実際は肺・脾・腎の作用失調が複雑に影響している。

\* 陰水と陽水は転化する：  
陽水日久 → 傷 正 → 陰 水  
陰 水 → 外邪を感受 → 陽 水

## 【 症状と処方例 】

## 1. 風水氾濫

[症 状] 眼瞼の浮腫、続いて四肢・全身に浮腫、発展が速い、多くは悪寒・発熱・関節酸痛、小便不利等の症状を伴う。

- { 風熱タイプ：喉の紅腫疼痛を伴い、舌質紅、脈浮滑数。  
 { 風寒タイプ：悪寒が強く、咳喘、舌苔薄白、脈浮滑或いは浮緊。

\* 水腫が甚だしい場合は沈脈が見られる。

## [処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
肺 兪	膀胱経	宣肺、 通調水道	第3・4胸椎棘突起間、外1寸5分
三焦兪	膀胱経		第1・2腰椎棘突起間、外1寸5分
陰陵泉	脾 経	健脾利湿	脛骨内側顆の下、脛骨内側の骨際、陥凹部

《風熱型》には以下の経穴を加える

合 谷	大腸経	発汗清熱	第1・2中手骨底間の下、陥凹部。第2中手骨より取る
外 関	三焦経		陽池穴の上2寸、総指伸筋腱と小指伸筋腱の間

《風寒型》には以下の経穴を加える

偏 歴	大腸経	宣肺散寒	陽谿穴から曲池穴に向かい上3寸
-----	-----	------	-----------------

\* 随症加減： 喉の痛み — 少商に点刺放血  
顔面部の水腫が顕著 — 水溝

## 2. 脾陽虚

[症 状] 水腫、腰以下が顕著、指で圧するとくぼむがなかなか戻らない。腕腹脹満、納呆、泥状便、顔色に精彩が無い、精神倦怠、四肢厥冷、小便短少。 舌質淡、苔白膩或いは白滑、脈沈緩或いは沈弱。

## [処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
脾 俞	膀胱経	健脾化湿	第 11・12 胸椎棘突起間の外 1 寸 5 分
足三里	胃 経		膝を立て、外膝眼穴の下 3 寸
三陰交	脾 経		内果の上 3 寸、脛骨内側縁骨際
気 海	任 脈	助陽化気	神闕穴の下 1 寸 5 分
水 分	任 脈	利 水	神闕穴の上 1 寸

\* 随症加減： 泥状便 - 天枢

## 3. 腎陽虚

[症 状] 面浮身腫、腰以下が顕著、指で圧するとくぼむがなかなか戻らない。心悸、気喘、腰部酸重、尿量減少、四肢厥冷、寒がり、精神疲労感、顔色は白っぽい或いは灰色にくすむ。舌質淡胖、苔白、脈沈細或いは沈遅無力。

## [処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
腎 俞	膀胱経	温補腎陽	第 2・3 腰椎棘突起間、外 1 寸 5 分
太 谿	腎 経		内果とアキレス腱の間陥凹部
照 海	腎 経		内果の直下 1 寸
気 海	任 脈	助陽化気	神闕穴の下 1 寸 5 分
水 分	任 脈	利 水	神闕穴の上 1 寸